

平成26年度美唄市議会報告会における「議会に対する意見・要望」

① 議会報告会

No.	意見・要望	回答
1	<p>例年、夜間に議会報告会を開催しているが、来年から日中の開催にするか、働いている方への配慮も考えて、土曜日又は日曜日の開催を検討していただきたい。</p> <p>また、昨年から議会報告会の会場が12会場になったが、高齢者は会場が近くないと参加できないので見直してほしい。</p>	<p>議会報告会の開催会場や開催時間等については、市民の方からのご要望もあることから毎年検討をしており、一部、地域からのご要望により開催時間を変更した会場もありますが、当面は現状の会場・時間で開催させていただきたいと考えております。</p> <p>なお、今後とも、地域からご要望がある場合は、その都度、検討をさせていただきます。</p>

② 議会改革

No.	意見・要望	回答
2	<p>美唄市の「政務活動費」は、どのようになっているのか。議員の調査活動は大切なことであり、先進事例の研修を行うべきである。また、必要であれば議員定数を増やしても構わないのではないのか。</p>	<p>議員一人あたり、年間10万円の政務活動費の制度はありますが、市が財政健全化計画を進めていますので、現在は凍結しております。</p> <p>凍結解除については財政健全化計画最終年次以降に検討していくことになると考えております。</p> <p>なお、議員定数については、現在のところ議論はしておりません。</p>
3	<p>市の財政健全化に伴い、市議会議員の定数削減も話題になっているが、どのようになっているのか。</p>	<p>議員定数については、先がけて平成19年に22名から16名へ6名を削減、また、平成23年には16名から14名へ2名削減をしております。</p> <p>少数になったことによる課題もありますが、それぞれ緊張感を持って議会活動を行っており、現在のところ更なる削減は議論しておりません。</p>

③ 病院・医療関係

No.	意見・要望	回答
4	<p>基本構想で、市立病院の建て替えの方向が出されているが、医師確保を含めた医療体制の解決が先ではないか。医師が確保できないのであれば、現状と変わらないのではないのか。借金だけが残り将来負担が心配であり、特別委員会において議会議論をしっかりと行い、十分検討すべきである。</p>	<p>市立病院は、市内における「基幹的病院」としての重要性もあり、地域医療の再構築にあたっては、市民の皆さんの理解を得ることが大切と考え、議会としても平成25年6月に地域医療体制等調査特別委員会を設置し、市が策定した「地域医療提供体制ビジョン」や「地域医療再構築プラン」を基に、議会議論を行っているところです。</p>

平成26年度美唄市議会報告会における「議会に対する意見・要望」

5	市立美唄病院の経営健全化のために、議会は参考人の招致を行うなど、市民のさまざまな意見を聞くべきではないか。	「まちづくり懇談会」や「議会報告会」における市民の方からのご意見・ご要望も参考にしながら、地域医療体制等調査特別委員会で議論しております。
---	---	---

④ その他

No.	意見・要望	回答
6	北電による電気料金の再値上げで、街路灯の電気料金の負担が今までより大きくなることが予想されるが、議会として何か方策はないのか	9月の第3回市議会定例会で、市全体の街路灯のLED化について議論しましたが、今後も議会において議論していきます。
7	北電の電気料金の値上げに対して、議会としてどの様に対応したのか。	9月の第3回市議会定例会で、北電に対して「北海道電力の電気料金再値上げの撤回を求める意見書」を提出し、全会一致で可決しており、厳しい姿勢で対応いたしました。